

目次 本協会の事業報告特集

間口も 奥行も……………小林 元 棟… 1
 協会の 事業活動について…………… 2
 本協会の各部会、専門部会の動き
 普及 部会…………… 4
 技術 部会…………… 4
 施工 部会……………12
 整備 部会……………13
 調査 部会……………13
 水力開発機械化 専門部会……………13
 道路工事機械化 専門部会……………14
 土と基礎機械化 専門部会……………20
 指導書専門部会……………22
 製造業部会……………23
 建設 業部会……………23
 商社 部会……………23
 サービス 業部会……………23
 創立 10周年記念事業実行委員会……………23
 建設機械損料 調査委員会……………29
 昭和 35 年度各省事業の概要
 I. 昭和 35 年度建設省の事業 概要……………寺 崎 満…24
 II. 昭和 35 年度農林省農地関係公共 事業の概要…諸 橋 中行…30
 III. 昭和 35 年度運輸省港湾 事業の概要……………塘 恒 夫…34
 IV. 昭和 35 年度日本道路 公団の事業概要……………藤 森 謙 一…38
 V. 昭和 35 年度愛知用水 公団の事業の概要……………伊 藤 益 雄…42
 昭和 34 年の土木建設機械 輸入の展望……………上 田 直 四 郎…45
 道路下における 地下鉄道建設工事について……………森 尻 暁 二…47
 米国におけるトラクタメーカと 修理工場について……………塩 谷 毅…53
 建設機械用タイヤの発展 経過と問題点……………服 部 六 郎…57
 建設機械オペレータの 技術検定制度……………塩 野 入 宗 吉…62
 国産建設 機械主要諸元表 (その3,4)……………66
 ニュース……………(編集部) ……70
 行事一覧・ 編集後記……………(長尾・坪・白井) ……72
 本協会の団体会員一覧表

◇表紙写真説明◇

株式会社 酒 井 工 作 所 製
 サカイ TR 4113 型自走式タイヤローラ

株式会社酒井工作所では昨年来自走式タイヤローラの試作研究を進めてきたが、本年初頭、試作に成功の結果生産を開始した。本機は極めて独創的なアイデアのもとに設計され数多くの特長をもっている。例えば、完全に均一な転圧を行うため空気バネによる独立懸架装置を有し、かつタイヤ踏面の接地荷重が内圧、荷重の変化にかかわらず極力均一になるような特別の転圧用空気タイヤを装着し、それ等の各々は極めて容易に着脱できるようになっている。また、荷重の着脱を容易にし、タイヤ内圧の調整装置により広範囲な転圧エネルギーの調節が可能である。なお、前後進クラッチによりサイクルタイムの短縮と最高時速 30 km を持つ変速機による移動性の確保をはかっている。

主 要 諸 元

車 体 寸 法	全 長	5,160 mm	タ イ ヤ 諸 元	寸 法	9.00-20-8 PR
	全 幅	2,460 mm		踏 面	平滑面型
	全 高 (日覆なし)	2,890 mm		本 数	前 5、後 6
	＊ (日覆付)	3,500 mm		使 用 内 圧	0.7~7.0 kg/cm ²
軸 間 距 離	軸 間 距 離	3,700 mm	ク ラ ウ ン 幅	ク ラ ウ ン 幅	225 mm
	輪 間 距 離	440 mm		推 奨 最 大 荷 重	3,120 kg
性 能	重量可変範囲	13 t→27 t	性 能	速 度 機 関 回 転 数	{3.00, 8.25, 11.70, 122.50 km/h
	転 圧 幅	(後輪踏面外周) 約 2,430 mm		機 関 回 転 数 に 対 して	
	前後輪オーバーラップ	約 10 mm		最 小 回 転 半 径	7,450 mm
	振 地 圧	最小 2.0 kg/cm ² 最大 6.0 kg/cm ²		駆 動 輪 上 下 動 限 度	±120 mm 計 240 mm
幅 当 り 荷 重	振 地 圧	最小 52 kg/cm ² 最大 111 kg/cm ²	備 考	と う 載 機 関	DA 120 PT (いすゞ) または UD 3 (生兵)